



各位

上場会社名 国際計測器株式会社
 代表者 代表取締役社長 松本 繁
 (コード番号 7722)
 問合せ先責任者 取締役総務部長 松本 博司
 (TEL 042-371-4211)

業績予想の修正に関するお知らせ

本日開催の取締役会において、最近の業績動向を踏まえ、平成22年5月14日に公表いたしました通期連結業績予想及び通期個別業績予想を修正することについて下記のとおり決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,000	1,400	1,350	800	57.08
今回発表予想(B)	10,000	1,700	1,460	870	62.07
増減額(B-A)	1,000	300	110	70	
増減率(%)	11.1	21.4	8.1	8.8	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	5,503	167	89	△31	△2.24

平成23年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,700	1,100	1,320	840	59.93
今回発表予想(B)	8,000	1,200	1,180	700	49.94
増減額(B-A)	1,300	100	△140	△140	
増減率(%)	19.4	9.1	△10.6	△16.7	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	3,894	108	11	△20	△1.43

修正の理由

通期の連結業績予想は、受注につきましては、国内自動車関連メーカーの生産ライン向け各種試験機の設備投資は縮小傾向が継続しているものの、研究開発部門の予算は回復傾向にあります。また、当社の主力取引先である中国・東南アジアの自動車・タイヤメーカーの設備投資が改善しており、生産ライン向けタイヤ試験機を中心に受注を獲得しております。第2四半期の受注は当初予想を40%ほど上回っており、第3四半期以降も堅調に推移するものと予想しております。

このような環境の中で、中国・東南アジアの中堅タイヤメーカーからの受注によりタイヤバルンサーの売上が当初予想を5億円程度上回るものと見込んでおります。

また、前年度より積極的な事業展開を行っている電気サーボモータ式振動試験機や地震震度情報ネットワークシステムの売上につきましても当初予想を5億円程度上回るものと見込んでおります。

売上高につきましては上記の理由などにより当初予想を10億円程度上回るものと予想しております。

営業利益につきましては、主力製品であるバルンマシンを中心とした全般的な売上増加による影響により、第3四半期及び第4四半期で60億円程度の売上を計上すると見込んでいることから当初予想を3億円程度上回るものと予想しております。

経常利益及び当期純利益につきましては、今期に入り為替相場が急激な円高ドル安に推移したことにより、第2四半期連結累計期間において1億7千万円の為替差損が発生していることや、第3四半期以降の想定レートを見直し80円としたことによる減益要因はあるものの、上記の売上増加理由などにより当初予想を上回るものと予想しております。

通期の個別業績予想は、売上高につきましては上記に記載いたしました連結業績予想と同様の理由によるものでありますが、営業利益につきましては子会社への販売手数料が増加する見込みであることから微増に留まり、経常利益及び当期純利益につきましては上記の理由による影響や急激な為替相場の変動により為替差損が発生していることから、当初予想を下回るものと予想しております。

以上